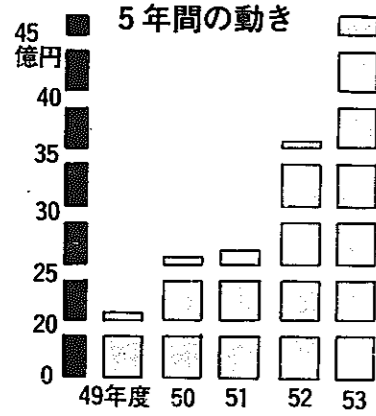


一般会計予算額



年、景気も再び返しのための積極型の予算を組んだわけだ。

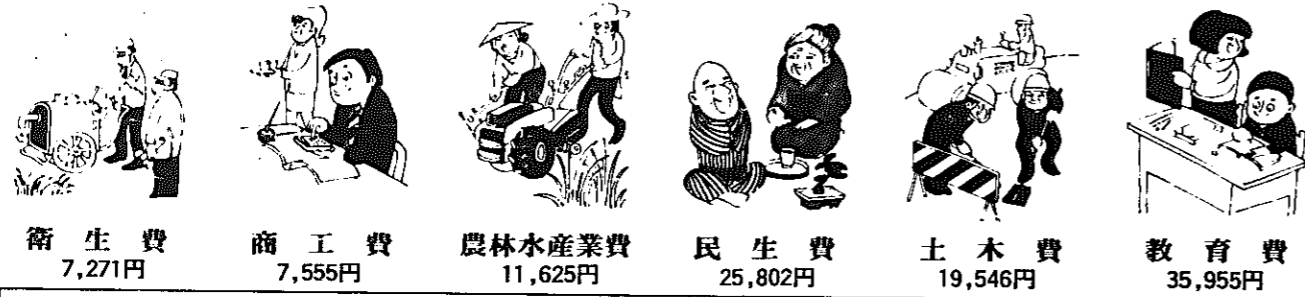
父 タツコ それで市の予算にも影響が。父 そのとおりだよ。景気浮揚は国や県、市町村が力を合わせてやるのが効果的でくるからね。だから白根市は財政基盤が弱いからといって、単純に事業を減らすことはできないわけだ。とくに子孫の代まで残る施設は、借金してでもね。

父 タツコ 借金はヤダネ。いつか返さなくてはならないし、破産する心配も。父 市債という名の借金は、県の許可が必要だし、公債(元金の返済などに必要な経費)比率が二〇%をこえると、借金が容易にできないことになっているんだ。その比率は白根市では一三%くらいだから心配はないわけだ。

父 タツコ フーン! 借金利用の積極型というわけだね。

父 「国の制度をフルに活用して、働く人の暮らしを少しでも楽に——」というのが、今回の予算編成の大きな特徴といえるね。

市民1人に使われる市の予算



総合体育施設は今後の課題 河川敷に運動広場



新しい事業として、鷲ノ木桜町地内の河川敷を一部造成して、運動広場をつくります。

地域のスポーツ振興については学校施設を整備し、市民の健康と体力づくりの場として活用してもらいます。

これらの工事費として 490万円を予算化しました。

また、総合体育施設の整備については、財政事情から本年度からの着手は困難な状況です。

しかしながら、その実現にむかって今後とも努力します。

8,577万円で

市営住宅 15戸を

所得が少なく住宅に困っている人のために、今年も市営住宅15戸を鯉沼地内に建設します。

工事費は 8,577万円で、コンクリートプレハブづくりの2階建てです。

これにより、市営住宅の戸数はいままでのものをふくめて、78戸になります。



地域生活センター

庄瀬地区に建設



茨曾根地区に続いて、本年度は庄瀬地区に建設します。

工事費は、現在の建物の解体費をふくめて 7,060万円です。

鉄筋コンクリート2階建てで、建築延べ面積は 515㎡。8月ころから工事に入る予定です。

地域の皆さんのふれ合いの場、として大いに活用し、『人と人との心のつながりの深い地域社会』を、皆さんみずからの力で実現してほしいと思います。



タツコ 地方財政が危機だ、といわれているけど、白根市はどうかなのかな。

父 二ページのグラフでもわかるように、歳入のうちわけをみると市税や負担金など、いわゆる市の手で確保できる自主財源より、地方交付税や市債(借金)国庫の支出金など、国や県から交付される依存財源が大きなウェートを占めているね。それだけに、市の台所は苦しいよ。

タツコ でも苦しいといいな。去年より三・九%も伸びているんだけど、一体どうなっているの。

父 一昨年くらいまで、国は物価安定とインフレ克服のために「じっと我慢の子」で、公共事業にお金を使わないようにしていたね。

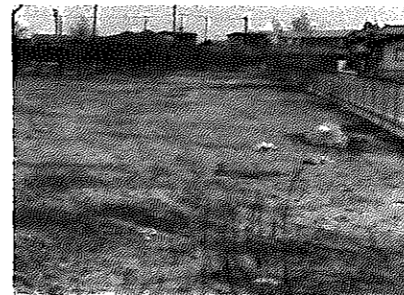
ところが失業者はでる、労働者の賃金は上がらない。こんな「不況風」が日本中を吹きまくり、とうとう国は昨年と今年、景気も再び返しのための積極型の予算を組んだわけだ。

市民1人が負担する税金



児童公園

大通団地内に建設



5つ目の児童公園が、大通団地内に誕生します。

本年度は、これまでに完成した公園の整備費をふくめて 965万円が、工事費として計上されています。

大通児童公園の面積は2,600㎡で、市役所わきの白根児童公園の次に大きなものとなります。

都市下水路整備

本年度は300mを改良

45年度から進められている都市下水路整備事業——その排水路改良工事も、鯉沼ポンプ場から須藤小路までできました。

本年度は1億2,600万円で、白根小プール付近までの約 300mを改良する予定です。

水路の形態は、標準断面が幅2.2m、深さ1.7mでボックス方式になります。



2億5,706万円で道路整備 市道52路線を舗装



県道の舗装は、白根亀田線の1,400mを残すだけになりました。早期完了するよう県へ、強く要望します。

一方市道では、舗装率が27.6%となっています。

本年度は、集落間を結ぶ生活道路の整備を重点的に、舗装工事52路線(予定延長1万254m)改良工事38路線(予定延長5,515m)護岸工事6路線(予定延長750m)測溝工事15路線(予定延長1,048m)土改共同工事7路線(予定延長650m)を市単独でこのほか、県が行う公共事業として2路線。土改が行う農道整備が2路線予定されています。